

令和6年度 脱炭素事業に関する村民説明会【子育て世帯向け】開催要旨

日 時	令和6年8月3日（土） 午後2時00分～午後3時15分
	（第1部 村政懇談会：午後2時00分～2時35分） （第2部 脱炭素事業：午後2時35分～3時15分）
場 所	村民会館
参加者	8名（村民7名、議員1名）

（第2部 脱炭素事業：午後2時35分～3時15分）

【質問者】

料金シミュレーションに記載されている燃料調整費というのは、各電力会社が決めるものなのか、それとも国や自治体が決めるものなのでしょうか。今後変動することはあるのでしょうか。

【エコロミ】

燃料調整費は各電力会社が国に申請して決まります。いくさかてらすでは、電力中央研究所の出している燃料価格上昇の予測を参考に、3.4円/kWhという額を設定しています。普通の電力会社さんだと変動はあるのですが、いくさかてらすの場合は、ある程度までは燃料調整費を上げない形で考えています。ただどうしても戦争などの影響で燃料価格が高騰してしまった場合には、会社の存続のために燃料調整費を再検討しなければいけないと考えています。

【質問者】

契約プランはこれで確定なのでしょうか。ほかにプランが増えることは考えられるのでしょうか。

【エコロミ】

事業自体をスタートしなければいけないため、現時点においては資料の2ページ目に記載されている4つのプランでスタートしたいと考えています。ただ、他地区の説明会でも、ご高齢の方の契約や農事用プランの契約に関するご意見がありましたので、今後検討していきたいと思っています。

【質問者】

契約者数の見込みが365世帯とありますが、少し心配していて、17年プランや10年のプランにある違約金の発生などが気になるところです。

【村長】

契約の年数に関してですが、太陽光パネルや蓄電池の償却年数をもとに設定しており、PPAの違約金は17年でゼロになります。また昨年度に調査した結果をふまえて、オンサイト(自宅や近くの敷地)のPPA契約件数で約300件、65件は野立てから供給する小売の契約という形で考えており、この件数を実現できれば会社として経営は成り立つとしています。それに向けて今年度から努力していかなければなりません。

【質問者】

ガスと電気をセットにすると安くなるようなプランや、水道料金が割引になる、新たに結婚した人や子育て世帯には割引があるなど、現状の4つのプラン以外にも選択肢があると、いくさかてらすを利用するメリットを感じやすくなると思います。

【村長】

割引に関しては、ポイントを付与する形で対応できないか考えています。特に、75歳以上の皆さんは年齢制限によって入れないプランがあるため、シンプルプラン等に参加いただいた方にはポイントを付与することも考えています。また、今年度からいくさかてらすもマル得商品券の加盟店になりましたので、それで電気代を払っていただくとお得な使い方もできます。そのように村の政策と上手く組み合わせていきたいと思っています。この事業の基本は、再生可能エネルギーで発電をした電気を地産地消で使って、2030年には民生部門でゼロカーボンを達成することです。またもう一つ、停電など災害が起きたときのレジリエンス強化を図りたいということもあります。

【質問者】

古民家脱炭素リノベーションの進行具合はいかがでしょうか。

【村づくり推進室長】

現在の進捗としては、村で直接工事を行うことから間接補助へ予算の組み替えを行いました。『龍と子』でも物件の募集をしつつ、環境省とも調整を進めており、調整がある程度形になりましたら、その対象となる物件に対して補助金を出して改修を進めていきたいと考えています。

【質問者】

蓄電池のみの小売10年プランについて、例えば自分自身で自宅に太陽光パネルを載せて、そのパネルを蓄電池に接続するといった方法はできるのでしょうか。

【エコロミ】

小売10年プランに加入して自分で太陽光パネルを設置することや、シンプルプランに加入して自分でパネルと蓄電池を設置することに対して、駄目とは言えないようになっていきます。しかし、基本的にはPPAプランへの加入に制約があってどうしてもできない方向けに、小売10年プランとシンプルプランを作ったという経緯がありますので、本来はPPAプランに加入できるのに小売10年プランに入るとするのは、できれば避けていただきたいというのがお願いです。

【質問者】

マイクログリッドや草尾地区での送電線の進行状況はどのようになっていますか。

【村づくり推進室長】

マイクログリッドに関しましては、6月の議会で債務負担の承認をいただき、今年度は設計と蓄電池の設置という予定ですが、まだ発注には至っていない状況です。今後の進捗状況に関しては、『龍と子』を通じてお示ししていきます。

【質問者】

どうしても料金プランの方へ目が行きがちになりますが、今回のゼロカーボンの事業全体では、マイクログリッドは比率からしてもとても大きな公共事業だと思います。今までの公共事業は、一部の人にしかメリットを感じられずに終わっているように思えて残念です。以前の説明会では、3名の雇用創出が見込まれるという話でしたが、事業規模から見るともっと仕事生まれてもいいと思いますし、自然や環境に対するインパクトもすごく大きいと思います。第2のふるさとプロジェクトも始まるようですので、そういうものも絡めてもっと相乗効果が生まれるよう、新しい仕組みやプランを作っていただけたらなと思って見えています。

【村長】

7月26日に、自営線マイクログリッド構築事業の公募をしており、その中に事業内容が記載されているので、そちらを見ていただくと内容を把握できるかと思います。受注者が決まりましたら、公表いたします。いくさかてらすの雇用も創出したいところですが、人件費は固定費になるため、経営が良くなってくれば増やしたいと考えています。シルバー人材の方へ草刈りを依頼したり、林務関係の従事者を養成したり、また色々と検討しながら取り組んでいきたいと思っています。

【質問者】

太陽光パネルの下で鶏を飼育できたら、下草管理にもなって一石二鳥で面白いと思います。

【村長】

そういったソーラーシェアリングと言われる営農型太陽光発電については、ブドウの栽培も考えました。ただ、パネルがあると色が付かないようで、巨峰のような品種の場合は難しいという話も出ました。ワイン用ブドウの検討もありますが、まだ具体的にはなっていません。ソーラーシェアリングをもっと広げていこうというのが政府の意向でもあります、思ったように進んでいないようです。

【質問者】

いくさかてらすの契約開始はいつからになっているのでしょうか。

【村長】

詳しくは次回の『龍と子』でお示ししますが、9月24日から徐々に契約のご説明を個別させていただきたいと考えています。対応できる人員に限りがありますので、徐々に進めていきたいと考えています。